



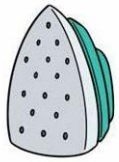
この春から進学や就職・転勤など、希望に満ち溢れた新しい生活環境で過ごされるご予約の方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

そこで本号では、家電を揃えるときに忘れがちな「アイロン」に注目してみました。

アイロンには大きく3種類



無いと地味に困るのがアイロン。でもどんなものを選べばいいの？



① スチームアイロン

アイロン面から蒸気を噴射して、熱と蒸気でシワを伸ばすタイプ。アイロン台に衣類を置いて使うが、最近は衣類をハンガーに掛けたままで使えるハンディタイプの製品もある。



② ドライアイロン

熱でしわを伸ばす昔ながらのタイプで、水分をかけながら使います。アイロン台と霧吹きが必須。



③ 衣類スチーマー

蒸気を噴射してしわを伸ばす最近人気のタイプで、衣類をハンガーに掛けたまま使えて便利。朝の忙しい時間帯にもサッと使用できる。

チェックポイント：コードの有無に注意が必要です

【コード有り】 温度を一定に保つことができるため一度に大量のアイロンがけができるが、コード自体が邪魔になることがある。

【コード無し】 コードが邪魔にならずに取り回しが楽だが、アイロン面が段々と冷えるために時々台において再加熱が必要。

アイロン表示

			ドライ	スチーム
	高温 (約180～200℃)	綿・麻など	○	○
	中温 (約140～160℃)	絹・毛・ナイロン・ポリエステルなど	○	×
	低温 (約80～120℃)	アクリル、ポリプロピレンなど	○	×
	アイロン仕上げ禁止			

アイロンをかけたら洋服がテカテカに！ アタリの原因と防止対策



衣類の一部がツルツルと光沢を持った状態になってしまうことを「テカリ」や「アタリ」などと言いますが、何が違うのでしょうか？

テカリとは：普段の着用方法やシートベルトの摩擦などで衣類の特定の部分へ負荷が掛かり、生地がつぶれて発光する現象。

(発生させないためには)

- きれいな水分を含むと天然繊維は膨らむので、こまめに洗濯する。
- 毎日連続して着用せず、衣類を吊るして休ませる。
- 気になる方は、白色っぽいテカリが目立たない衣類を選ぶ。

アタリとは：アイロンなどの圧力で生地表面の繊維がつぶれてしまう、衣類の仕上げ方に問題がある現象。

(発生させないためには)

- 繊維が化学繊維の場合にはアイロン温度の(高・中・低)を確認し、それよりも低温度にする。
- アタリが出やすい、生地が重なっている縫い目や折り目部分を避けてアイロンがけする。
- 特に大切にしている衣類には、ハンカチやタオルを当てた上からアイロンがけする。(アタリ防止マットという便利なモノもあるようです)

「テカリ」や「アタリ」が発生してしまったら・・・

簡単な方法から治る段階まで試してみましょう。

レベル 1	光っている部分に浮かしアイロン・スチーマーでスチームをかける。
レベル 2	光っている部分を霧吹きで十分に湿らし、浮かしアイロンやアイロンをかけ直す。
レベル 3	アタリを修復するスプレー薬品を使用してみる。(使用方法を十分確認)
レベル 4	光っている部分を衣料用ブラシや歯ブラシで擦ってみて、ケバ立たせてみる。

その他参考

衣類に毛玉を発見した際にNGな行為は、市販の「コロコロ」で巻き取る、手やガムテープでむしり取るなどは、毛玉ではない部分の生地を傷めるため避けましょう。

毛玉取り器以外の毛玉処理のお勧め方法

- 毛玉用ブラシでこまめにブラッシング。
- 顔用カミソリでカットしたり、食器用スポンジで絡め取る。

衣類は扱い方を間違えると、すぐに悪くなってしまうのが困りもの。どんなにステキな衣類でも、手入れをしなければ長くは使えません。衣類をしっかりとケアすれば、お気に入りの服を長く愛用できますね！



弊社は損害保険会社7社、生命保険会社8社、少額短期保険会社1社を取扱い、お客様の企業経営から個人のライフプランまで総合的なリスクマネジメントをご提案いたします。現在弊社以外でご契約の保険の証券診断も承りますので、お気軽にご相談ください！

弊社では、募集品質の改善・向上への取り組みの一環として、お客様から忌憚ないご意見やご感想を伺っております。是非ともご協力ください！

“お客様アンケートのサイト”



[アンケート-東京セントラル\(tokyo-central.co.jp\)](http://tokyo-central.co.jp)



◆弊社ホームページで「TOKYO CENTRAL NEWS」のバックナンバーを掲載しておりますので、是非ともご参照ください。